



勝浦ロータリークラブ

50期 THE WEEKLY REPORTS

2012 - 2013年度

No. 35 / Total 2367

例会：2013年6月14日

発行：2013年6月21日

| | |
|---------------------------|--------|
| RI 会長 | 田中 作次 |
| 第2790地区ガバナー | 得居 仁 |
| 第5分区ガバナー補佐 | 古市 一雄 |
| 第5分区幹事 | 島田 誠一 |
| 第2790地区地区委員 ロータリー財団委員会 | 関 一憲 |
| 勝浦RC | |
| 新世代奉仕委員会 | 羽鳥 鋭一 |
| 鴨川RC | |
| 勝浦ロータリークラブ 会 長 | 古川 範男 |
| 幹 事 | 中村 満 |
| クラブ会報委員長 | 小林 悠紀 |
| 副委員長 | 渡邊 ヒロ子 |
| 委 員 | 渡邊 昌俊 |
| | 関 一憲 |

◆6月14日(金)のプログラム クラブ協議会1(年間報告)

◆6月21日(金)のプログラム クラブ協議会2(年間報告)

◆今後の例会予定

6月【ロータリー親睦活動月間】

- ・6月28日(金)
夜間例会(家族会)
東急ハーヴェストクラブ勝浦

7月【識字率向上月間】

- ・7月 4日～5日 移動例会
4日(木) 例会：サンパレス福島
5日(金) 福島県立盲学校訪問
- ・7月12日(金)
会長所信、ガバナー補佐訪問

●会長挨拶 古川範男会長



来週はポルトガルのリスボンで開かれるロータリー・国際大会に出席するので、通常例会で挨拶するのは今日が最後になります。何か取って置きの話をと考えて参りましたが、きっと皆さんのお役に立つであろう話題として、こちら、「七つの習慣」を取りあげます。

これはアメリカ人のコンサルタントであるS. コビーという人の著書のタイトルですが、この本は何と世界で2000万部、日本では150万部以上売り上げたベストセラーです。永遠のベストセラーといわれるデール・カーネギーの「人を動かす」と似た人生論、自己啓発書です。

七つの習慣を身につければ必ず成功するという訳です。「時すでに遅し」と思っている方も多いと思いますが、人生に完成はありませんし、死ぬまで人間としての成長をしていくと考えれば、大いに参考にして頂けるのではないかと思います。

しかし、この分厚い本を読むのは大変ですし、マニュアル本は嫌だという人や、ハナから読む気のない人もいますので、今日は私なりに要点をまとめて紹介します。

さて、いろいろな習慣、ノウハウを身につける前に、植物を育てる時と同様にまず良い土壌を作らなくてはなりません。そのためには第1に優れた人格を持つこと、第2に我々の認識や行動を決めているパラダイム(枠組み・思想)は変えられることを知る、第3に人生には原則があることを知る、第4にまず自分を変えてから他人や環境を変える、ということはこの本では解いています。

準備ができたところで、いよいよ七つの習慣です。それは以下の通りです。

第1、**主体性の発揮(Proactive)** 自ら決め率先して問題解決に向かうこと。より良い物を持つのではなく自分がより良くなり、自分が環境に作用を及ぼす。

第2、**目的を持つ(Begin with the End in Mind)**
人生最後のイメージ、光景、パラダイムを持って今日を始める。ミッション・ステートメント(個人的な憲法や信条)を作る

第3、重要事項優先(Put First Things First)

重要でない事項に対して no と言い、効果的な自己管理をする

第4、Win—Win を考える(Think Win-Win)

お互いが得するように考える

第5、理解してから理解される(Seek First to Understand ,Then to Be Understood)

まず相手を理解するように努力。その後に分を理解してもらう。プレゼンは効果的に。

第6、相乗効果を発揮する(Synergize)

自分と他人との相違点を尊ぶ。意見に相違が生じたら、自分の意見を通すのではなく、他人の意見に折れるのでもなく、第3案を探し出す。

第7、刃を研ぐ(Sharpen the Saw)

自分の持つ資源(肉体・精神・知性・情緒)の維持、再生に努力する。

以上ですが、どうでしょう。いずれも言われてみれば当たり前のことですが、つい忘れてしまう事柄ではないでしょうか。毎日反省しつつ、振り返ることが大切かも知れません。

七つの習慣で、思い起こすのは長野県の小布施町おぶせを一人ですっかり変えてしまったアメリカ人女性、セーラ・カミングスさんです。長野五輪の際に来日して以降、造り酒屋に住み着いて、次から次へと改革を実現しました。主体性かたまりの塊で、目的意識が強く、Win-Win を実現した人です。

また1905年にシカゴでロータリー・クラブを立ち上げた、ポール・ハリスを初めとする4人の行動も、七つの習慣の実践と言えるでしょう。

皆さんも是非、私の最後のメッセージを受け取って頂き、ロータリアンの鑑かがみになって頂きたいと思います。

●委員会報告

◆親睦活動委員会 手塚明宏委員長

6月28日(金)18時半より、東急ハーヴェストクラブ勝浦にて、夜間家族例会を開催いたします。皆さんふるってご参加ください。

●ニコニコ BOX

○配偶者誕生日 今井一徳君

ありがとうございます。家内には迷惑をかけておりますので、帰ったらお祝いの報告をしたいと思います。

●クラブ協議会 (年間報告)

◆クラブ奉仕 I 中村昇担当理事

各委員長さん方が素晴らしいリーダーシップを発揮してくださった結果、会員増強3名につながる事ができました。公共イメージの向上については、引き続き多くの方に知っていただくための諸活動の展開が必要であると感じております。ありがとうございました。

◆会員増強委員会 高梨薫俊委員長

昨年度始めの会員数は、私が平成6年に入会して以来一番少ない人数で、委員長として責任重大な一年でした。地区の純増1名の目標に対し、3名の優秀な人材を獲得することができました。会長を始め、会員の皆様のご協力に感謝いたします。

◆出席委員会 前田安彦委員長

皆さんのご協力のおかげで本年度90%以上の出席率を得ることができました。ありがとうございました。

◆親睦活動委員会 手塚明宏委員長

池田担当理事のご指導のおかげで、やりやすい一年でした。皆さんのおかげで間もなくニコニコも目標を達成することができます。親睦は大切だと思いますので、今後も宜しくお願い致します。

◆プログラム委員会 千葉正徳委員長

卓話により出席率を上げようという目標でスタートし皆さんのお力をお借りし、述べ19回の外部卓話を行うことができました。月間テーマに対する卓話を2回しか行えなかったことが反省事項です。

◆職業奉仕 牧野利美担当理事

社会奉仕と共同で料理教室を開催し、地域の子供達を励まし喜んでもらえたことを誇りに思います。

◆職業奉仕委員会 渡邊ヒロ子委員長

皆さんのおかげで3つの目標 ①セミナーへの参加 ②職業奉仕について理解を深められるような卓話の開催 ③料理教室の開催を達成することができました。

※誌面の都合により、渡邊新世代育成委員長、村石国際奉仕担当理事、西川国際奉仕委員長の発表は次週掲載致します。

出席報告 6月14日(金)

出席委員会 前田安彦委員長

| 会員 | 出席 | MU | 欠席 | 出席率 |
|-----|-----|-----|----|-------|
| 38名 | 25名 | 10名 | 3名 | 92.1% |